

2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年1月14日

上場会社名 東洋電機製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6505 URL https://www.toyodenki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺島 憲造
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大塚 貴敏 (TEL) 03-5202-8122
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	19,392	△1.2	302	—	380	—	470	221.4
2019年5月期第2四半期	19,635	5.3	△124	—	△21	—	146	△42.8

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 1,054百万円(—%) 2019年5月期第2四半期 △640百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	52.63	—
2019年5月期第2四半期	15.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	58,098	25,589	44.0
2019年5月期	58,001	24,804	42.8

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 25,589百万円 2019年5月期 24,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日~2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.0	900	61.4	1,100	121.8	900	30.4	100.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期2Q	9,735,000株	2019年5月期	9,735,000株
2020年5月期2Q	793,283株	2019年5月期	792,966株
2020年5月期2Q	8,941,949株	2019年5月期2Q	9,371,547株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 決算補足説明資料	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年6月1日～2019年11月30日)における我が国経済は、米中通商問題の長期化や、中東情勢、日韓関係などに起因する不確実性の拡大から、製造業の設備投資に慎重さが見られるものの、企業収益は依然高い水準を維持し、個人消費も6年連続してベースアップが実施されるなど堅調に推移しています。海外では、米国経済が好調で、中国経済は減速しつつも新興国全体は堅調で、世界のインフラ投資は拡大傾向にあります。

当社を取り巻く事業環境は、概ね期初想定範囲内で推移しております。交通事業では、国内の鉄道車両の置き換え需要が引き続き堅調で、中国の需要も緩やかな回復傾向にあります。産業事業では、加工機械などで一部投資の先送りが見られたものの、自動車メーカーにおける開発ニーズの多様化により、自動車開発用試験機の需要は堅調を維持しております。情報機器事業では、消費税率改定が予定どおり10月に実施され、それに伴うソフトウェア改修の特別需要がありました。

こうした中、当社グループは2018年7月にスタートさせた中期経営計画「リ・バイタライズ2020(Revitalize2020)」に基づき、組織の力を強化し、高品質な製品を迅速に顧客に提供していくことで、利益を安定して生み出す“筋肉質な”事業運営体制を確立すべく、グループ一丸となって取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりです。

受注高は、前年同期比5.9%増の203億41百万円となりました。

売上高は、前年同期比1.2%減の193億92百万円となりました。

損益面では、営業利益は、前年同期比4億26百万円改善し3億2百万円、経常利益は同4億2百万円改善し3億80百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は一部の政策保有株式の圧縮に努めた結果、同221.4%増の4億70百万円となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。

<交通事業>

受注高は、JR向け、中国向けが増加したことから、前年同期比14.9%増の128億59百万円となりました。

売上高は、主にJR向けが減少したことから、前年同期比7.5%減の121億39百万円となりました。

セグメント利益は、主に国内民鉄向けが減少したことから、前年同期比3.9%減の10億17百万円となりました。

<産業事業>

受注高は、試験機向けが増加したものの、昨年受注した新事業大型案件(電源関係)の反動減があり、前年同期比9.2%減の67億11百万円となりました。

売上高は、試験機向けが増加したことから、前年同期比11.8%増の64億59百万円となりました。

セグメント利益は、原価管理、工程管理の強化及び経費の圧縮に努めたことから、前年同期比295.9%増の4億88百万円となりました。

<情報機器事業>

受注高は、消費税率改定に伴うソフトウェア改修や、複合発行機の増加などにより、前年同期比23.5%増の7億67百万円となりました。

売上高は、消費税率改定に伴うソフトウェア改修により、前年同期比9.1%増の7億90百万円となりました。

セグメント利益は、売上高と同様の事由により、前年同期比99.4%増の2億47百万円となりました。

※報告セグメント別の売上高については、「外部顧客への売上高」であり、「セグメント間の内部売上高又は振替高」は含みません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計については、現金及び預金の減少6億62百万円がありましたが、売上債権の増加7億50百万円、投資有価証券の増加5億63百万円などがあり、前連結会計年度末比96百万円増加の580億98百万円となりました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計については、繰延税金負債の増加2億84百万円がありましたが、未払税金等の減少5億64百万円、仕入債務の減少3億1百万円などがあり、前連結会計年度末比6億88百万円減少の325億8百万円となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計については、その他有価証券評価差額金の増加6億3百万円、利益剰余金の増加2億2百万円などがあり、前連結会計年度末比7億85百万円増加の255億89百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね予想通りに推移しており、2019年7月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,240	1,577
受取手形及び売掛金	14,192	15,359
電子記録債権	1,443	1,026
商品及び製品	991	845
仕掛品	3,504	3,825
原材料及び貯蔵品	3,074	2,855
前渡金	47	25
未収入金	461	49
その他	64	150
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	26,019	25,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,210	12,272
減価償却累計額	△5,119	△5,316
建物及び構築物(純額)	7,090	6,956
機械装置及び運搬具	8,174	8,199
減価償却累計額	△6,732	△6,921
機械装置及び運搬具(純額)	1,441	1,277
土地	1,301	1,301
建設仮勘定	31	50
その他	4,410	4,515
減価償却累計額	△3,592	△3,752
その他(純額)	818	763
有形固定資産合計	10,683	10,349
無形固定資産		
ソフトウェア	677	568
その他	14	14
無形固定資産合計	692	583
投資その他の資産		
投資有価証券	17,856	18,419
繰延税金資産	164	136
その他	2,598	2,904
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	20,606	21,448
固定資産合計	31,982	32,381
資産合計	58,001	58,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,670	2,788
電子記録債務	5,944	5,525
短期借入金	2,462	2,810
未払費用	678	708
未払法人税等	320	268
未払消費税等	579	66
前受金	59	70
預り金	216	237
役員賞与引当金	38	23
賞与引当金	819	828
受注損失引当金	570	483
その他	402	229
流動負債合計	14,763	14,041
固定負債		
長期借入金	12,961	12,637
長期未払金	20	20
繰延税金負債	1,554	1,838
退職給付に係る負債	3,893	3,967
その他	4	3
固定負債合計	18,433	18,467
負債合計	33,197	32,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,998	4,998
資本剰余金	3,177	3,177
利益剰余金	10,797	10,999
自己株式	△1,280	△1,280
株主資本合計	17,693	17,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,176	7,779
為替換算調整勘定	126	83
退職給付に係る調整累計額	△192	△168
その他の包括利益累計額合計	7,110	7,694
純資産合計	24,804	25,589
負債純資産合計	58,001	58,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
売上高	19,635	19,392
売上原価	16,030	15,485
売上総利益	3,605	3,907
販売費及び一般管理費	3,729	3,605
営業利益又は営業損失(△)	△124	302
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	181	164
為替差益	13	—
雑収入	31	26
営業外収益合計	227	192
営業外費用		
支払利息	72	46
持分法による投資損失	4	10
固定資産廃棄損	4	0
為替差損	—	31
雑損失	44	24
営業外費用合計	125	114
経常利益又は経常損失(△)	△21	380
特別利益		
投資有価証券売却益	347	412
特別利益合計	347	412
特別損失		
創立100周年記念事業費用	20	—
特別損失合計	20	—
税金等調整前四半期純利益	305	793
法人税、住民税及び事業税	173	283
法人税等調整額	△14	38
法人税等合計	158	322
四半期純利益	146	470
親会社株主に帰属する四半期純利益	146	470

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	146	470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△758	603
為替換算調整勘定	△9	△9
退職給付に係る調整額	24	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	△33
その他の包括利益合計	△787	583
四半期包括利益	△640	1,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△640	1,054
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	305	793
減価償却費	821	717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	74
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△168	△81
受取利息及び受取配当金	△182	△165
支払利息	72	46
投資有価証券売却損益(△は益)	△347	△412
売上債権の増減額(△は増加)	280	△784
たな卸資産の増減額(△は増加)	△615	22
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,708	△261
前受金の増減額(△は減少)	△114	11
未払費用の増減額(△は減少)	42	38
未収消費税等の増減額(△は増加)	398	△30
未払消費税等の増減額(△は減少)	62	△512
その他	△0	△86
小計	△1,162	△625
利息及び配当金の受取額	182	165
利息の支払額	△69	△52
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△54	△238
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,104	△749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,409	△363
無形固定資産の取得による支出	△41	△8
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
投資有価証券の売却による収入	565	1,073
貸付けによる支出	—	△26
関係会社出資金の払込による支出	—	△338
その他	188	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△704	315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,340	268
長期借入金の返済による支出	△101	△239
自己株式の取得による支出	△799	△0
配当金の支払額	△470	△267
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,969	△239
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178	△662
現金及び現金同等物の期首残高	1,555	2,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,734	1,577

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	交通事業	産業事業	情報機器 事業				
売上高							
外部顧客への売上高	13,124	5,777	724	8	19,635	—	19,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	0	—	295	314	△314	—
計	13,143	5,778	724	304	19,950	△314	19,635
セグメント利益	1,058	123	124	16	1,322	△1,446	△124

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣に関連する業務等です。

2 セグメント利益の調整額△1,446百万円は、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,443百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	交通事業	産業事業	情報機器 事業				
売上高							
外部顧客への売上高	12,139	6,459	790	3	19,392	—	19,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	0	—	272	277	△277	—
計	12,144	6,460	790	275	19,670	△277	19,392
セグメント利益	1,017	488	247	4	1,756	△1,454	302

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣に関連する業務等です。

2 セグメント利益の調整額△1,454百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,454百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 決算補足説明資料

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産状況

事業の種類別 セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
交通事業	12,961	68.2	11,960	63.2
産業事業	5,333	28.1	6,172	32.6
情報機器事業	699	3.7	803	4.2
その他	—	—	—	—
合計	18,995	100.0	18,935	100.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

事業の種類別 セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
交通事業	11,192	21,821	12,859	23,318
産業事業	7,392	8,305	6,711	7,435
情報機器事業	621	425	767	678
その他	8	—	3	—
合計	19,216	30,552	20,341	31,432

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売状況

事業の種類別 セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
交通事業	13,124	66.8	12,139	62.6
産業事業	5,777	29.4	6,459	33.3
情報機器事業	724	3.7	790	4.1
その他	8	0.0	3	0.0
合計	19,635	100.0	19,392	100.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。